



第 58 号

# 千 町 田

発行元:(農)のきの郷  
安来市利弘町 922-3  
Tel/Fax:22-2580  
発行責任者:河津 一行

一年を振り返って

専務理事 河津 一行

師走に入り寒さ厳しい折、いよいよ令和4年も終わろうとしています。なかなか終息しないコロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻と決して安息できない一年だったように思います。

現在、

そのうえ、円安も絡まって物価が高騰し、それに伴って肥料や農薬そして資材等の価格が高騰しました。これは経費節減を目指す当法人の経営を急激に圧迫し、今後もまだまだ続いていくものと思われまます。もうすぐ丸10年を迎えようとしているのきの郷も、ここに来て成長に陰りが見えてきているのも事実です。経営方針を根本から考えていく必要があるのかも思われまます。

さて来年はどんな年になるのか。

一丁のような観点から中期プランに掲げていた和牛繁殖事業と直売センター事業を、先般の理事会で一旦凍結することを決定しました。ただ将来に悲観的になったのではなく、一度立ち止まって足元を固

相変わらず農業情勢は不透明ではありますが、この難局を役員一同



とまと、キャベツ、米、なたね油の販売そして恒例の米すくいを行います、たく

たのですが、午前中は陽ざしがあり暑いくらいでした。



一丸となって乗り切る所存です。で組合員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。また、くる年が組合員の皆様にとって幸多い年になりますよう心より祈り申し上げます。

11月20日

伯太庁舎駐車場において3年ぶりに安来市農林業祭が開催され、のきの郷も出店しました。週間天気予報は雨マークが出ていて心配して



さんの方にご来店いただきほぼ完売することが出来ました。

11/17 視察

安来市集落営農組織連絡協議会

安来市地域担い手育成

11/24 職場体験学習

安来二中 特別支援学級2年

総合支援協議会





## 田んぼの様子

田んぼは冬の装いです。白鳥たちのにぎやかな声が響いています。秋の収穫は、水稲、飼料用米、そばの刈取りが無事終わり、大豆は天候模様により左右されあともわずか残っています。収穫の終わった田んぼは順次たい肥散布と荒起こしを行います。

秋まきの菜種、小麦はどちらも白鳥ロード脇にあり小さな芽を出しています。白鳥除けのテープが張ってある田んぼが小麦です。その隣の田んぼは何やら生えているのが菜種です。



めに作業を進めています。

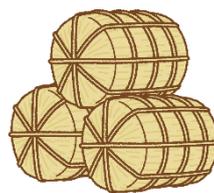
ハウスでは、いちこの収穫が始まりました。収量はまだまだわずかですが今期の収穫が楽しみです。とまはまだまだたくさん実をつけています。ぶどうはハウスのビニールを外し冬支度を始めました。



## 令和4年産米収量

令和4年産米の収量と施設利用状況を報告します。

品種名	俵/10a
つや姫	8.8
コシヒカリ	5.7
きぬむすめ	6.6
にこまる	5.2
あきだわら	9.1
ハクトモチ	6.6



施設名	作業割合(面積比率)
JAカントリー	66.6%
ライスセンター	5.6%
きの郷	27.8%

## お知らせ

- ☆ 賦課金助成などは12月20日にお支払いします。
- ☆ 地代はしまね農業振興公社より12月末に支払われます。
- ☆ 令和4年度確定申告に必要な書類は12月20日頃送付します。
- ☆ 12月初めに設立10年記念品を各家庭にお届けしました。ささやかな品ではありますがお納めください。

## 安来二中 体験学習

11月24日安来二中の特別支援学級より1名が職場体験実習にやってきました。おもにキャベツの調整を実習しました。

後日「キャベツが思いのほか重かった。同じ作業が続いて大変だった」「周りの人とかかわりなど学校でも意識して頑張る」と感想をもらいました。



## お悔やみ申し上げます

飯生町 菱本 耕一様  
飯生町 板垣 典子様



☞ ちよっこし聞いて ☞

早いもので今年もあとわずかになりました。年の瀬に向かい気ぜわしくなりました。こんな時こそ落ち着いて「ひとやすみ、一休み」。ちよっこしですが良いお年をお迎えください。(ゆ)

